

Espoir et Confiance (希望と責任)

平成24年度版

国家公務員 女性ガイド



女性のみなさん 公務の職場で活躍してみませんか?



人事院

公務では、有為で多様な人材を求めています。公務の職場では、女性の採用・登用の拡大に努めており、多くの女性職員が活躍しています。

女性の採用・登用の拡大の方針

政府目標の下、各府省の採用者に占める女性の割合は着実に拡大してきましたが、さらに、人事院は指針を発出し、女性国家公務員の採用・登用の拡大等が図られるよう積極的に取り組んでいます。

政府方針

【第3次男女共同参画基本計画】
〈平成22年12月閣議決定〉

- ・2020年(平成32年)までに社会のあらゆる分野において指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度とする。
- ・国は率先して、人事院の策定する女性国家公務員の採用・登用拡大に関する指針を踏まえて、目標達成に向けて積極的に取り組む。

【成果目標(2015年度末(27年度末)までの中間目標)】

地方機関課長・本省課長補佐相当職以上に占める女性割合	10%程度
国の本省課室長相当職以上に占める女性割合	5%程度
国の指定職相当に占める女性割合	3%程度

人事院

「女性国家公務員の採用・登用の拡大等に関する指針」
〈平成23年1月14日改定〉

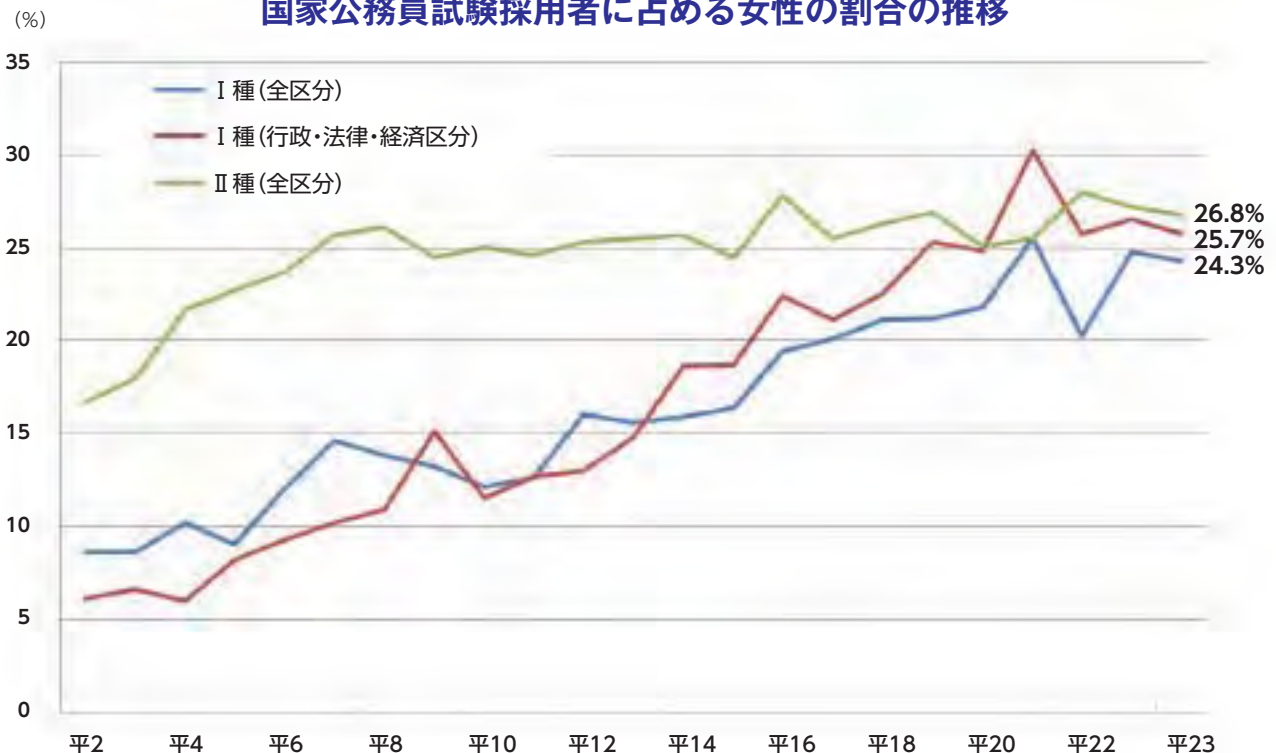
各府省

「女性職員の採用・登用拡大計画」
〈平成27年度末までの目標、具体的取組等〉

- ・府省全体及び部局等の適切な区分における目標、目標達成に向けての具体的取組等を定める
- ・登用を阻害する要因、転勤自体の必要性の見直し、キャリアパスの多様化について検討を行う
- ・職務経験付与に当たって適正な指導・育成、付与後の支援を行う
- ・両立支援制度活用促進、勤務環境の整備 など

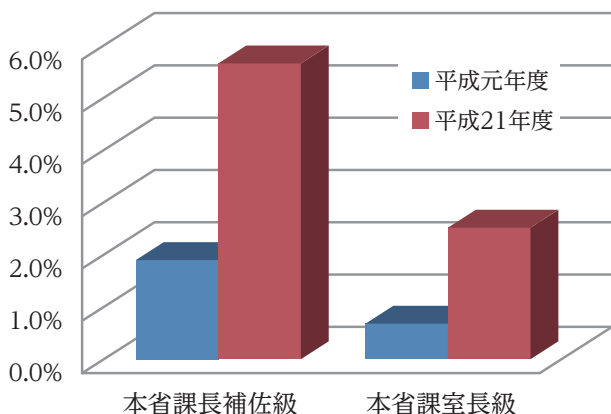
総合的かつ計画的に取り組みを推進

国家公務員試験採用者に占める女性の割合の推移

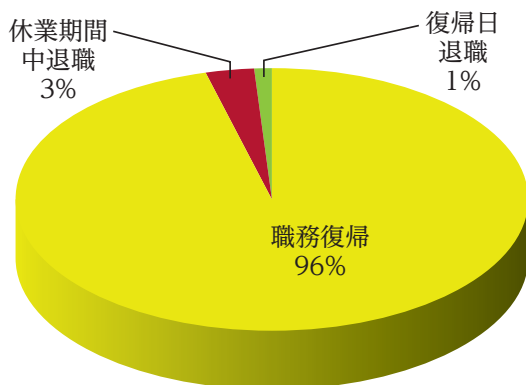


育児休業取得後もほとんどの女性職員が職務に復帰し、活躍しています。

公務における役職者に占める女性の割合



育児休業取得後の職場復帰等の状況（女性）



※平成21年度に育児休業を終えた者を対象

ワーク・ライフ・バランス【仕事と家庭生活の両立支援】

【出産する場合】

産前産後休暇

産前6週間、産後8週間

【3歳未満の子どもを養育する場合】

育児休業

配偶者の就業等の状況にかかわらず取得可能

【小学校就学前の子どもを養育する場合】

育児短時間勤務

勤務時間を1日3時間55分（週19時間35分）等に短縮

【小学校就学前の子どもを養育する場合】

育児時間

1日の勤務時間の一部（2時間まで）を勤務しないことが可能

【小学校就学前の子どもを看護する場合】

子の看護のための休暇

年5日まで
（対象となる子が2人以上の場合は年10日）

【小学校就学前の子どもを養育、放課後児童クラス等に通う小学生の子どもを送り迎え、又は父母等を介護する場合】

早出遅出勤務

始業・終業時刻を繰り上げ又は繰り下げて勤務

【配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合】

介護休暇

6ヶ月の期間内で必要と認められる期間

【小学校就学前の子どもを養育、又は父母等を介護する場合】

深夜勤務・超過勤務制限

深夜勤務は免除
超過勤務は月24時間・年150時間以内に制限

【配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合】

短期介護休暇

年5日まで
（対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日）

【3歳未満の子どもを養育する場合】

超過勤務の免除

仕事と家庭生活の両立支援制度を活用した先輩からのメッセージ

鈴木 愛

(平成9年採用 II種行政)

厚生労働省山口労働局雇用均等室地方短時間労働指導官

私は、厚生労働省の地方出先機関で男女雇用機会均等法施行業務を担当しており、日々、男女労働者や会社の人事労務担当者から相談を受け、会社への訪問調査や広報活動を行っています。

2歳と6歳の子どもを育てながら働くワーキングマザーであり多忙な毎日ですが、職場の温かい理解の下に、子どもが病気になった時は子の看護休暇制度を、親も参加する保育園の行事には年次有給休暇制度を利用し、1日の終わりに布団の上で絵本を読むことを親子の楽しみにしながら仕事と家庭生活の両立・充実に奮闘中です。

第一子、第二子とも、出産後は育児休業を9か月間取り、夫とバトンタッチする形で職場復帰し、夫が育児休業を3か月間取った後は、働く時間を1時間短縮する育児短時間勤務の制度を3か月間利用しました。育児休業後すぐにフルタイム勤務に戻るのではなく、1時間早く家に帰ることは気持ちにゆとりをもたらし、生活環境の急激な変化に親子とも合わせていくことができたと思います。

採用され14年が経つ中、ときには立ち止まり悩むこともありましたが、身近な自分もこうなりたいという目標となる女性事務官の存在が、私を励まし前向きな考えへと導いてくれました。

現在、自分に与えられた仕事をやり遂げながら、家庭生活を大事にしていくというのは、私にとって大きな課題ではありますが、学生時代に志望した「人のため直接役に立てるやりがいのある仕事がしたい。専門性を高め、活かしていきたい。結婚しても出産しても働き続けキャリアを積み重ねていきたい。」という思いは、今叶えられています。

「いい仕事したい。いい人生したい。」と考えているみなさん、国家公務員はどうですか。



塚田 友美

(平成16年採用 I種理工I)

国土交通省住宅局建築指導課省エネ検査係長

私は産前・産後休暇と育児休業を取得して、一人の男の子の出産・育児をしていましたが、この5月から約1年3ヶ月ぶりに復職しました。

現在は、夫の協力を得ながら、朝は子供の朝食等のお世話をし、保育園に送り、昼は職場で建築基準法関連の業務、勤務終了後保育園のお迎えをし、帰宅後は子供の夕食・寝かしつけ等のお世話や家事という生活を送っています。

復職にあたり、仕事と家庭生活の両立を具体的にどのように実現するかを考え、先輩等から話を聞いたり、本を読んだりしました。私自身は仕事もしたい、一方で子供の生活リズムを尊重したいと思いました。そこで、業務時間を確保しつつ、早く保育園にお迎えに行くために、職場のサポートも得て、私は早出遅出勤務を活用して30分早く出勤しています。これにより、帰宅時間が早まり、子供の就寝までの時間に少しゆとりができました。

このような日々を私は送っていますが、仕事と家庭生活の両立と一言で言っても、その考え方や実態は人によっても異なり、また置かれた立場によっても変わっていくものだと思います。公務員はやりがいがあり、法律や社会の根幹に関わる制度の制定や運用に関われる仕事です。このような仕事に、出産後も本人の希望があれば出産前と同様に活躍することも可能ですし、子供が小さい時は多少ペースダウンして勤務することも可能です。

子供をもつと、買物するにもこれまでより時間がかかるなど不便なことも多いですが、親という立場を経験すると自分自身の視点や考えが広がりますし、また子供の笑顔や成長には何にも代え難い喜びとなっています。やりがいがある仕事と家庭生活と両立を考えているなら、公務員は一つの選択肢になるとと思います。



梶村 麻衣子

(平成16年採用 I種経済)

内閣府男女共同参画局推進課課長補佐

入府以来、経済財政政策の基本方針のとりまとめや景気動向の調査・分析などの経済財政関係の業務を経て、現在は、女性の参画の拡大のための取組など、男女共同参画の推進のための具体的な施策を企画・立案する業務に携わっています。政府の基本方針や計画のとりまとめを行う際などは、時には深夜まで仕事と格闘することもあります。仕事が一段落し、一つの形となって世の中に出ていくのを見届けるのは、何ものにも代えがたいやりがいを感じる瞬間です。

私はまもなく出産し、その後育児休業をとる予定ですが、上司・先輩から仕事と子育ての両立のためのアドバイスをいただく機会も多く、身近なロールモデルが豊富であるとともに、制度面でも育児休業、育児短時間勤務などの両立を支援する制度が整備されていることなどから、育児休業後も安心して職場復帰できる環境が整っていると思います。今は、先輩方を見習って、仕事と子育ての両立に向け精一杯頑張りたいと思っています。

家庭を持ちながらも、国家公務員として積極的にやりがいのある仕事をしたい。そんな意欲のある皆さんは、ぜひ国家公務員を目指してください。一緒に働くことができるのを楽しみにしています。



片山 静香

(平成19年採用 II種行政)

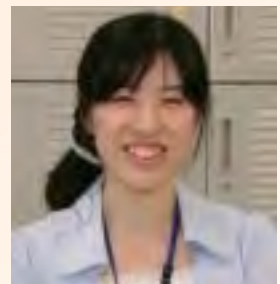
総務省北海道総合通信局無線通信部企画調整課

総合通信局では、情報通信を活用した地域の活性化、電気通信事業者や放送事業者の監督、無線局の免許・検査、電波利用環境の保護等の業務を行っています。

私はこれまで、職員の給与関係、電気通信事業者の監督、地域の情報通信の基盤整備・利活用促進の支援業務等を経験し、現在は周波数管理や調査検討会事務等の業務を行っています。様々な業務がありますが、すべて幅広く人々の豊かな生活を支えることのできる、やりがいのある仕事だと感じています。

職場では、男女関係なく働くことができ、周りの先輩方に支えられ、成長しながら仕事ができます。女性同士では、仕事の話だけでなく、趣味の話等も気軽に話すことができ、相談しやすい環境になっていると思います。また、出産・育児の際の休暇制度として、産休や育休もしっかり取得することができ、多くの女性職員が仕事と家庭を両立させて働いています。

働きやすく、やりがいのある職場で、国家公務員として仕事をしてみませんか。



林 ひとみ

(平成20年採用 I種経済)

財務省関税局総務課企画係長

「今まで自分を育ててくれた日本へ恩返しをしたい」、「今後の日本のあり方について、主体的に、かつ多角的に携われる仕事がしたい」。これが、私が国家公務員、そして財務省を志した理由です。希望して入省した財務省で働き始めて、早4年目。まだまだ勉強の毎日ですが、この4年間を振り返ってみると、自分自身の成長と、微力ながらもこの国のために働くことが出来ているという誇らしさを感じるような、充実した日々を過ごしてきました。

例えば、現在総務課にて行っている、局全体の意見をまとめ、発信する仕事では、まさに今、政府で取り組んでいる政策を扱うことも多く、機敏な対応が求められる一方、日本という国の躍動を直に感じることができます。このように自分の携わった仕事が国の政策の一部を成すということは、何事にも代えがたい達成感があります。そして我が省にも、こうしたやりがいのある仕事と家庭を両立している女性の先輩がおり、自分の将来を考える上で大変心強い存在です。

就職活動は恋愛と似ていると思います。あなた自身が必死になれる相手を見つけ、その恋愛が成就するように。そして、その相手が国家公務員、ひいては財務省であれば、大変嬉しく思います。



先輩からのメッセージ

廣瀬 麻野

(平成21年採用 I種理工IV)

文部科学省研究開発局原子力課

科学技術や教育を軸に、未来の日本をより豊かな国に育てていくことに貢献したいと志し、文部科学省への入省を決意してから、早3年。入省以来、科学技術、私学行政そして原子力と幅広い行政分野を経験してきました。様々な場面で突き当たる課題に対して、職場の上司や関係者と真剣に議論し解決策を模索する日々の中で、自分の決意が間違っていなかったと実感しています。

文部科学省は、教育、科学技術、スポーツ、文化と幅広い業務があり、皆さんが現在、興味がある分野だけでなく、全く予想していない分野で、自分の新しい興味や能力があることに気づかせてくれる職場です。自分自身も振り返ると、入省当時とは比べものにならないほど、興味の幅が広がり、また多角的に物事を見て、考える力がついたと感じています。

日本をよりよい国にするための政策を真剣に考える行政官に、男女の区別はありません。文部科学省はもとより霞が関は、そんな志を持つあなたを温かく迎え入れる職場だと思います。ぜひ、よりよい未来のために国家公務員として一緒に働きませんか。



土屋 香菜

(平成17年採用 II種農学)

農林水産省関東農政局生産経営流通部園芸特産課園芸流通係

農林水産省入省以来、農地の権利取得、園芸作物の生産・流通、国会対応など幅広い業務に携わってきました。現在はりんご、みかんなど果実の価格安定のための対策や加工用果実の品質向上対策などを担当しており、補助事業の申請書類の審査、果樹の生産現場の調査などを行っています。農家の方だけでなく、民間企業、都道府県、市町村の方と話す機会があり、厳しい意見をいただくこともありますが、自分の仕事はどう受け止められ、どう活用されているか知ることができ、自分の役割を実感する機会となっています。

私は今年結婚しましたが、結婚を決めるにあたり仕事と家庭との両立にあまり不安を感じることはありませんでした。それは、省内で育児と仕事を両立している先輩の姿、周囲が業務上のサポートをする姿を見てきたからだと思います。女性も男性も関係なく、それぞれの家庭の事情を考慮し、支えてもらえる職場だと感じます。

働きやすい環境、色々な仕事ができる職場です。ぜひ選択肢の一つとして、国家公務員を考えてみてください。



宮崎 由佳

(平成18年採用 I種経済)

経済産業省通商政策局通商政策課調査係長

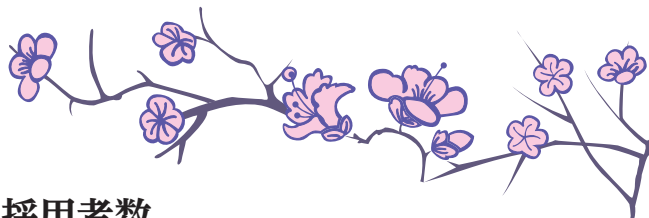
これまで、主に通商分野における政策立案と交渉に携わってきました。入省後5年がたちましたが、年を重ねる程に違う世界が見えてきて、毎日が新しい発見と勉強の連続です。

通商交渉は、日本の産業構造を考えることから始まります。刻々と変化する国際情勢の中で、日本はどういう社会を目指すのか、そのためにはどのような制度が必要か。こうしたことを日々、上司や同僚、経済界の方々や研究者と議論しながら考え、戦略を練るのは、難しくもやりがいがあります。また、実はこの過程は歴史との出会いでもあります。過去の政策とその背景を辿ってみると、一つ一つが国や世界の歴史を形成してきたことに気づきます。行政官は、過去・現在・将来の連続性を保ちながら、新たな歴史を作る一端を担っていると言えるのかもしれませんが。壮大で夢のある仕事だと思いませんか？

国際交渉は、女性が活躍できる舞台です。私が所属する通商政策局では、多くの女性職員が働いています。私自身も何度か一人で海外出張に行きましたし、今夏からは留学の機会を頂きます。自らが望めば、男女の区別なく、責任ある仕事と成長の機会を惜しみなく与えてくれる職場には、心から感謝しています。



女性の採用データ



平成22年度 I種・II種・その他の試験 女性の採用者数

(単位：人)

	I種	II種	その他の試験					
			国税専門官	労働基準監督官		法務教官	航空管制官	外務省 専門職員
				労働基準 監督 A (法文系)	労働基準 監督 B (理工系)	教官 B		
会計検査院	2 (3)	10 (28)						
人事院	2 (4)	4 (9)						
内閣官房		1 (6)						
内閣法制局		0 (1)						
内閣府	3 (10)	5 (14)						
公正取引委員会	0 (4)	4 (24)						
警察庁	8 (25)	11 (70)						
金融庁	2 (12)	9 (18)						
宮内庁		1 (2)						
総務省	7 (38)	22 (68)						
法務省	12 (24)	79 (258)				24 (24)		
検察庁		45 (146)						
公安調査庁	0 (2)	5 (48)						
外務省	5 (22)	0 (2)						11 (34)
財務省	2 (17)	1 (2)						
財務省財務局	3 (7)	20 (67)						
財務省税関	2 (5)	25 (90)						
国税庁	1 (8)		161 (742)					
文部科学省	8 (29)	13 (28)						
厚生労働省	11 (36)	85 (282)		12 (35)	0 (9)			
農林水産省	18 (56)	14 (35)						
林野庁		4 (22)						
水産庁		0 (2)						
経済産業省	12 (39)	18 (43)						
資源エネルギー庁		1 (4)						
特許庁	3 (36)	9 (18)						
国土交通省	8 (74)	25 (200)					18 (58)	
気象庁	1 (7)	2 (31)						
海上保安庁	0 (2)	0 (0)						
運輸安全委員会		0 (3)						
環境省	7 (18)	4 (11)						
特定独立行政法人	0 (3)	17 (88)						
計	117 (481)	434 (1,620)	161 (742)	12 (35)	0 (9)	24 (24)	18 (58)	11 (34)

(注) 1 ()内は、男女の合計数です。

2 I種、国税専門官、労働基準監督官は、平成23年4月1日現在の採用者(旧年度合格者等からの採用者含む。)です。

3 II種は、平成23年4月30日現在、法務教官は、平成23年5月1日現在の採用者数です。

4 航空管制官、外務省専門職員は、平成23年4月1日現在の採用者数です。

開催イベントのご案内

女子学生セミナー

【総合職志望者対象】

東京地区にて開催(3月開催予定)

【一般職志望者対象】

全国主要都市にて開催(12月～3月開催予定)

中央省庁セミナー及び各府省合同業務説明会

全府省の合同説明会 全国主要都市にて開催(12月～2月開催予定)

霞が関OPENゼミ

【総合職・一般職志望者対象】

開催日：平成23年12月1日(木)・2日(金)

【総合職志望者対象】

開催日：平成24年3月8日(木)・9日(金)

※ 全国主要都市にて開催予定

- その他、「霞が関特別講演」が秋期(10月～12月)、春期(4月～6月)に、また、「女性行政官による女子学生のための集中講義」が東京・京都で11月にあります。

最新の情報はここから！

- 試験・採用等に関する情報が満載。
イベント情報や動画も掲載しています。

国家公務員試験 採用情報NAVI
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/>

- 採用試験に関する情報を中心に、
月2回程度配信中！

メールマガジン 国家公務員試験採用情報ニュース
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo-mailmagazine.htm>

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3
電話：03-3581-5314 (直通)